日本内分泌病理学会 理事会 議事録

日時:2016年9月15日(木)17:00~18:3	0
会場:サンシャインシティ会議室 Room1	
出席者:山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長	、島津 章、方波見卓行、屋代 隆、
加藤良平、戸田修二、吉本勝彦、近藤	哲夫、田辺晶代、岡本高宏 の各理事
柴田洋孝、松野 彰 の各監事、長村	義之 顧問
菅間 博 次期理事、井下尚子 次期	監事 の各オブザーバー
欠席者:成瀬光栄、亀山香織(委任状あり)の	各理事
議 題:I 評議員会・総会と共通の議題	
<評議員会・総会の審議事項>	
1. 役員改選の件理事長	mt c
2. 2015 年度決算及び監査報告の件方波見	乱(財務)・戸田(前年度会長)・柴田(監事)
3. 2016 年度見込み及び 2017 年度予算案の件	方波見
4. 次次次期(第23回、2019年度)学術総会会	:長候補者の件―理事長
5. 名誉会員推薦の件	理事長
6. 功労評議員推薦の件	理事長
7. 新評議員推薦の件	理事長
<評議員会・総会の報告事項>	
8. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件	
9. 第 20 回学術総会研究賞の件	松野(会長)
1)研究賞選考委員	
2)研究賞受賞者	
10. 第 21 回(2017 年度)学術総会の予告	田辺(次年度会長)
11. 学会名称の変更について -	理事長
Ⅱ 理事会のみの議題	
<審議事項>	
12. 新体制の理事役職について	次期理事長
13. e-Book の作製について -	吉本
<報告事項>	
14.活動計画の実施について	
①内分泌病理学教育セミナー	
②ISPGRS	屋代

15. 第91回 (2018年度) 日本内分泌学会学術総会プログラム委員会への

プログラム提案募集について ------田辺 (P 委員)

- 16. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて------島津(庶務)
- 17. コンサルテーションの現状について -----近藤 (C委員長)
- 18. その他

冒頭、山田理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立 する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

I 評議員会・総会と共通の議題

<評議員会・総会の審議事項>

1. 役員改選の件

- ・山田理事長より、本年 4 月の理事会において承認済の下記の次期体制について、評議員会・総会に諮りたいとの説明があり、これを了承した。
- 1) 理事
 - (1) 選挙選任理事 10名
- 近藤哲夫(山梨大学) 任期:2期4年、2016年総会日~2020年総会日
- 田辺晶代(国立国際医療センター病院)同上
- 戸田修二(佐賀大学) 同上
- 吉本勝彦(徳島大学) 同上
- 屋代 隆(自治医科大学) 任期:1期2年、2016年総会日~2018年総会日[注1]
- 松野 彰 (帝京大学) 同上 [注2]
- * 方波見卓行(聖マリアンナ医科大学)任期:2期4年、2014年総会日~2018年総会日
- * 加藤良平(山梨大学) 同上
- * 笹野公伸(東北大学) 同上
- *◎山田正三(虎の門病院) 同上
 - (2) 理事長推薦理事 3名
- 岡本高宏(東京女子医科大学)任期:1期2年、2016年総会日~2018年総会日
- 菅間 博(杏林大学) 同上
- 島津 章 (京都医療センター) 同上
- 2) 監事 2名

柴田洋孝(大分大学) 任期:4年、2014年総会日~2018年総会日

○ 井下尚子(虎の門病院) 2016 年総会日~2020 年総会日

○印:今回改選される役員、◎=次期理事長、*印:第二期目再任の理事

[注 1]: 役員定年のため

[注 2]:選挙選任理事の半数改選の対象となるため

2. 2015 年度決算及び監査報告の件

・方波見財務理事より、一般会計の収入の部において、会費過去未納分の一部回収、ファイザー社の賛助会員入会、イーライ・リリー社より「内分泌病理学の普及と若手研究者、臨床医の育成」を目的とする寄付、第 19 回戸田会長からの学術集会繰入金などにより、予算額を大幅に上回ったこと、一方、支出の部も、トラベルグラント新設、人件費増額、家賃負担、通信運搬費増などにより予算額を若干上回ったが、当期収支差額は 712,945 円の黒字決算となったことが報告された。また、用途限定金を差し引いた純繰越金は3,748,308 円で、前年度から 444,040 円増加したと説明された。

なお、通信運搬費に含まれるプログラム抄録集の送料は、「ヤマトメール便」が経済的であるとの指摘があった。

- ・第19回戸田会長から、370万円余規模の学会になったこと、源泉税を納入したこと、一般会計繰越金を入金したことなどが報告された。なお、一般会計繰越金は収益とは関係のないものであるとの説明があった。
- ・引き続き、柴田監事から、上記 2 件について松野監事と監査を行った結果、2015 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があり、審議の結果、2015 年度決算は全会一致で承認された。

3. 2016 年度見込み及び 2017 年度予算案の件

- ・方波見財務理事より、2016 年度見込みに関し、収入は会費のみであるのに対し、支出の部においてトラベルグラント、内分泌病理学教育セミナー及び ISPGRS2016 といった新規事業費、2017 年度からの学会名称変更に備え印刷費の増加などにより、当期収支差額は21万円余の赤字決算を見込むと報告された。
- ・引き続き、同理事から、2017年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2016年度見込を踏まえて予算を計上したが、新しい企画を実施するために寄付を募る予定であり、順調に推移すれば当期収支差額は若干の黒字になるとの説明があった。
- ・上記2件について審議の結果、これらは全会一致で承認された。

4. 次次次期 (第23回、2019年度) 学術総会会長候補者の件

・山田理事長より、菅間博・次期理事を次々々期会長に推挙したいとの提案があり、これを全会一致で承認し、評議員会・総会に推薦することとした。また、同候補者もこれを 受諾した。

5. 名誉会員推薦の件

・山田理事長より、資格要件を満たす成瀬光栄理事を評議員会・総会に推薦したいと提案され、全会一致で承認された。

6. 功労評議員推薦の件

・山田理事長より、資格要件を満たす者なしとの説明があった。

7. 新評議員推薦の件

・申請のあった中村保宏 会員(東北医科薬科大学)について審議の結果、全会一致で評議員会・総会に推薦することが承認された。

<報告事項>

8. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

- ・山田理事長より、4月理事会で承認・決定された下記の各受賞者を評議員会・総会に報告することを確認した。なお、特別功労賞の推薦はなかった。
- (1) 佐野賞: 1名
- ·中村 保宏 (東北医科薬科大学)

テーマ: アルドステロン産生副腎腫瘍における分子病理学的特徴の解明と臨床応用

- (2) 亀谷賞:1名
- ・大池 信之 (昭和大学)

テーマ: 膵混合型腺神経内分泌癌の臨床病理学的および分子病理学的検討

9. 第20回学術総会研究賞の件

- ・松野会長より、前回4月理事会で承認された選考委員3名及びその下で選ばれた受賞者について下記の報告があり、評議員会・総会に報告することを確認した。
- (1)研究賞選考委員
- ·委員長(=会長):松野彰
- ・委員(順不同):田辺 晶代、吉本 勝彦、岡本 高宏 の3理事
- (2) 研究賞受賞者
- ①最優秀賞
- 佐久間 一基

(千葉大学医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科)

テーマ: RNA シークエンスとメチル化解析から捉えた異所性 ACTH 産生褐色細胞腫の 分子機構

②奨励賞

・中山 敦史

(佐賀県医療センター好生館 消化器内科)

テーマ:食道扁平上皮癌と脂肪組織の細胞生物学的相関

・大石 直輝

(山梨大学大学院 総合研究部 医学域 人体病理学講座)

テーマ: 乳頭癌における TERT 変異は未分化転化のリスクである -未分化転化をきたした 乳頭癌の分子病理学的解析-

・また、これとは別個に学生会員筆頭演者 2 名に対してトラベルグラントを支給することが報告された。

10. 第21回(2017年度)学術総会の概要

・田辺次期会長より、下記の概要が報告された。

日程:2017年10月27日(金)~28日(土)

場所:東京コンベンションホール

104-0031 東京都中央区京橋三丁目 1-1 東京スクエアガーデン 5F

電話:03-5542-1995 FAX:03-5542-1994

連絡先:第21回日本臨床內分泌病理学会学術総会 運営事務局 田辺晶代

国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科

162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

電話:03-3202-7181 (代表) FAX:03-3207-1038

E-mail: atanabe-endo@umin.ac.jp 演題募集:2017年5月中旬~7月下旬予定

なお、2017年度から学会名称(和名)が変更されるのに伴い、学術総会名は 「第21回日本臨床内分泌病理学会学術総会」となる。

11. 学会名称の変更について

・山田理事長より、本年 2 月に書面で実施した臨時総会において下記学会名称の変更が可決されたこと、前回 4 月理事会において名称変更の実施は 2017 年度からとしたことを評議員会・総会に報告することを確認した。

「日本内分泌病理学会」→「日本臨床内分泌病理学会」 英名は現行のまま「Japan Endocrine Pathology Society」

Ⅱ 理事会のみの議題

<審議事項>

12. 新体制の理事役職について

・山田理事長より、下記の提案があり全会一致で承認された。○:筆頭理事

担当役職	役員名
理事長	山田正三
副理事長	笹野公伸
財務理事	○島津 章、吉本勝彦
庶務理事	○加藤良平、田辺晶代
広報理事	○屋代 隆、松野 彰
企画学術理事	○方波見卓行、岡本高宏、菅間 博
涉外理事	○戸田修二、近藤哲夫
監事	柴田洋孝、井下尚子

【参考】筆頭理事の主な職務

- ・担当役職の責任者(=会則第13条4に規定)
- 理事会議題の調整
- ・理事会並びに評議員会・総会での説明・報告
- 理事会議事録の校閲
- ・理事会で決議された課題の主導的実施
- ・特別功労賞・佐野賞・亀谷賞の選考委員会委員

13. e-Book の作製について

・吉本理事より、具体的な企画がない現状では Springer との交渉はできないので、企画を 提案されたい旨、要請があった。

<報告事項>

14. 活動計画の実施について

- ①内分泌病理学教育セミナー
- ・笹野副理事長より、日本病理学会(2016 年 5 月 12 日~14 日、仙台)において、初心者を対象に共催セミナーとして 3 日間 7 パート実施し平均聴講者約 150 名で好評であったこと、入会者は 3 名であったことが報告された。
- ②ISPGRS (Sep 1-5, Honolulu, Hawaii)
- ・屋代広報理事より、会期中に当学会主催の"The Endocrine Pathology of Pituitary Adenomas UPDATE"と題するシンポジウムが長村顧問をオーガナイザーとして開催され外国人講師も含め好評であったことが報告された。
- ・同理事より、当学会ホームページの NEWS & TOPICS サイトは随時掲載可能なので、同理 事宛てに直接寄稿されたいとの紹介があった。また、今後バナー広告について検討するこ ととした。

15. 第 91 回 (2018 年度) 日本内分泌学会学術総会プログラム委員会へのプログラム提案募集について

- ・田辺当学会代表 P 委員より、追ってプログラムアンケートを実施するので、提案願いたいとの要請があった。
- ・方波見前委員より、プログラム委員会における当学会提案の採択率は高くプールが減少 したので、新規提案を願いたいとの補足説明があった。また、前委員から現委員への引き 継ぎを確認した。

16. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて

・島津庶務理事より、会員数(8月末日現在290名、前年比2名減)および3年間会費未納者(18名)についての説明があり、後者に関し役員から会費納入の働きかけを行うこととした。また、一定期間を置いて会費再請求を行った後、3年間未納者は自然退会扱いとなることを確認した。

17. コンサルテーションの現状について

- ・近藤コンサルテーション委員長より、2015年の依頼は8件、2016年は現時点で2件であることが報告された。また、会員増加につながる「コンサルテーション結果に対するフィードバックの方法」を検討することとした。
- ・依頼者に関し、日本内分泌学会の会員であるが当学会の非会員である場合が多いので、 そのような場合入会を勧めているが実績はないと、事務局からコメントがあった。

18. その他

・山田理事長から、今後事務局業務は岸 守男から岩木一巳に引き継がれるとの報告があった。なお、岸は当分の間補佐役として残るが、事務局業務の縮減に協力されたいとの要請があった。

以上

事後記載:

評議員会及び総会は下記のように合同で開催された。その際、上記の議題1~11が討議 され、審議事項はすべて満場一致で承認された。

日時:2016年9月16日(金)14:30~15:00

会場:帝京大学板橋キャンパス大学棟 第一会場 104

定足数:評議員会 (評議員 37 名の 2/3 以上=25)

⇒ 出席者総数 28 (出席 21+委任状 7) で成立

総 会 (議決権者=260名の1/3以上=87)

⇒ 出席者総数 117 (出席 25+委任状 92) で成立